

## アンゴラ経済概要（6月）

本月報は当館が報道等公開情報<sup>1</sup>より取りまとめたものです

### 石油・LNG

- ・ 中国のChina Petrochemical Corp.は、アメリカのMarathon Oil Corp.より、15億2000万ドルで、第15区の権益を10%購入。これにより同社は第15区において15%まで権益を保持する（6/24 BB）。
- ・ BPによるPSVM油田は、12月には日産15万バレルまで到達し、予定より早くピークに達する見込み（6/14 BB）。
- ・ アンゴラとコンゴ（民）は国境沿いにあるLianzi 鉱区の共同開発に関し合意。シェブロン社が商業開発を進める権利を有する（6/25 AH）。
- ・ 石油大臣は、アジアとEUがLNGの輸出先として最も良い価格を提示している国である旨言及（6/26 AH）。
- ・ LNGの初の出荷が開始し、輸出先をブラジルとする（6/5 AH）。
- ・ トータル社の石油生産量は現在日産60万バレルだが、2014年にはさらに1万6000バレル追加される見通し（6/14 AH）。

### 財政・マクロ経済

- ・ 海外送金につき、新法を施行した6年間、違法な資本投資が減少。2007年に16億4000万ドル、2011年には1750万ドルであった（6/19 BB）。
- ・ アンゴラは2017年までに税・関税の収集機関を統合する予定（6/7 BB）。
- ・ 5月のインフレ率は0.87%上昇したが、未だ10%を下回る（6/28 SOL）。

### 国際機関等

- ・ 世界銀行は、アンゴラ政府による石油の収支プロセス報告につき改善が見られると評価し、アンゴラ政府は透明性改善に関する世界銀行賞を受賞（6/20 BB）。
- ・ ドイツ銀行は、アンゴラの貧困率は高いままであるが、経済多様化は進んでいる旨分析（6/17 AH）。

### 金融・銀行

- ・ 石油収入を原資として設立したソブリンファンドの代表は、大統領の息子であるジョゼ・フィロメノ・ドス・サントスが就任。半分は固定利付金融商品（fixed-income instruments）、残りはホテル業等のベンチャー企業に投資される見込み（6/22 BB）。
- ・ 先物取引等を伴う株式取引の開始は、予定より遅れ2016年の開始を見込む（6/1 BB）。有価証券の流通市場は、2014年まで送れる見込み（6/28 BB）。
- ・ 石油セクター為替法により、7月1日から財・サービスのクワンザ建てによる支払が義務

<sup>1</sup> JA: Jornal de Angola, EX: Expansão, BB: Bloomberg, JE: Jornal de Economia, OP: O País, AP: Angop, SE: Semanário Económico, AH: Angola Hub, AN: Angola Notícia, RNA: Rádio Nacional de Angola, SOL: Sol Angola.

付けられるが、これはアンゴラ金融セクターを近代化させるとBNAは言及（6/21 AH）。

#### 二国間関係

- ・ サントメプリンシペ:サントメは、アンゴラに対し石油開発関係の協力を期待（6/10 SOL）。
- ・ ドイツ:ドイツにとって、アンゴラはサブサハラ地域内で第3位の取引相手である旨報道（6/5 SOL）。アンゴラの鉱物資源開発、特に黒花崗岩の開発にドイツ企業は関心（6/10 AH）。
- ・ 中国:中国とポルトガル語圏間の協力基金が、中国政府と、中国開発銀行、マカオ商工業開発基金のイニシアティブのもと設立（6/27 AH）。
- ・ ナミビア:アンゴラとナミビアは、石油とガスに案する二国間協力協定を締結（6/27 AH）。

#### 電力・水・通信

- ・ Eaglestone社は1億ユーロの再生可能エネルギー基金のうち、40%をアンゴラとモザンビークのプロジェクトに投資する予定（6/29 BB）。
- ・ Tombwa市に建設予定の風力発電所建設に関する調査は、前進している段階にあると電力・水の州局長が発表（6/27 AH）。
- ・ アンゴラとブラジルによるBiocomプロジェクトは、マランジェ州において、2014年にサトウキビから砂糖・エタノールの生産を開始する予定（6/26 Ah）。
- ・ 政府は、年末までに電力・水関係の国有企業を3社設立予定（6/25 AN）。
- ・ 最近実施された電気料金の調整は、サービスの質を向上させるだろうとEDELは言及（6/25 AN）。

#### インフラ・建設・物流

- ・ ルアンダにおける不動産市場は、需給バランスが安定しており、価格も落ち着いている旨コンサルは分析（6/25 AN）。
- ・ キランバ・キアシの住宅価格は、減額される見込み（6/17 AN）。

#### 農業・漁業

- ・ アンゴラのコーヒー産業は、干ばつによる被害から復興し、2012年と同量のコーヒー豆を生産する見込み（6/4 BB）。

#### その他の産業・当地企業

- ・ アンゴラの企業20社は、サントメプリンシペにて調査出張を実施。インフラ、エネルギー、水、港湾を主な投資先として認識（6/30 SOL）。
- ・ ルバンゴ市において、ポルトガル語圏開発自由特区を設立する旨AIAは発表（6/6 SOL）。
- ・ 7月17-21日に開催される第30回ルアンダ国際見本市には、1000以上の展示ブース、30か国以上の出席が見込まれる（6/27 AH）。
- ・ 法務・人権大臣（o ministro da Justiça e dos Direitos Humanos）は、アンゴラで企業が24時間以内に設立できるプログラムを制定中と言及（6/26 Ah）。
- ・ ANIPとFILは、海外企業ミッションの当地訪問、アンゴラ市場の促進等を目的とした新組織を設立する予定（6/26 AH）。

- ・ ANIPは、工業やサービスを主とした投資案件13件を契約(6/19 AH)。
- ・ アンゴラでは、引き続き政府の汚職が問題である旨経済コンサルタントは言及(6/19 AN)。